



1. マーケット・レート

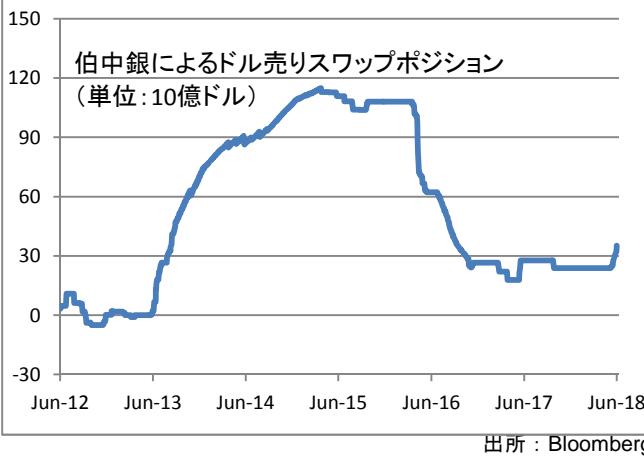
			6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7460	3.8090	3.8510	3.9070	3.7080	-0.1990
	BRL/JPY	Spot	29.31	28.83	28.61	28.08	29.54	+1.46
	EUR/USD	Spot	1.1698	1.1714	1.1775	1.1800	1.1769	-0.0031
	USD/JPY	Spot	109.79	109.82	110.18	109.70	109.55	-0.15
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.658	6.865	7.034	7.499	7.178	-0.321
	Future	1Year(p.a.)	7.088	7.335	7.524	7.573	8.045	0.472
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.643	3.745	3.756	3.784	3.923	+0.139
USD	1Year(p.a.)		4.037	4.039	4.126	4.185	4.376	+0.191
株式	Bovespa指數		78,596.06	76,641.75	76,117.25	73,851.50	72,942.07	-909.43
CDS	CDS Brazil 5y		231.66	236.47	244.67	254.27	251.20	-3.07
商品	CRB指數		198.862	199.186	199.013	199.486	200.038	+0.552

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは2016年3月以来となる3.96台まで下落するも、伯中銀の介入を受けて3.70台まで反発。
- 週初のレアルは週間高値3.7660で寄り付いた。先週末の堅調な米雇用統計やイタリアの政局混乱が緩和したこと等を受けてリスク回避の動きが後退。週初のレアルは小幅に上昇したが、引き続き国内大統領選を巡る不透明感や物流ストによる悪影響が懸念される中で下落に転じた。伯中銀が追加のドル売り介入を実施するも、損失確定のレアル売りを巻き込みながら連日で直近の安値を更新し、週間安値3.9650まで下げた。その後、8日に伯中銀がドル売り介入の規模を拡大するとレアルは3.70台まで反発。週間高値3.7010を付け、結局3.7080で越週した。
- 4日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が2.37%から2.18%へ大幅に下方修正され、2019年は3.00%で据え置かれた。インフレ率予想は2018年が3.60%から3.65%、2019年は4.00%から4.01%へ上方修正。年末の為替レートは2018年が3.48から3.50、2019年は3.47から3.50へレアル安方向に修正された。
- 5日、大統領選挙に関する世論調査が発表され、現候補者の中で市場に好感されている中道のアルキミン元サンパウロ州知事が引き続き劣勢となる結果が示された。市場はこれを嫌気し、レアル及び国内株式市場は軟調に推移した。
- 8日に発表された5月の伯インフレ指数(IPCA)は前年比+2.86%と予想の+2.76%を上回った。電気料金や運送費の上昇が主な要因で前月より上昇したが、伯中銀・財務省が設定する目標レンジ(3.0-6.0%)の下限は11ヶ月連続で下回った。但し、5月下旬よりブラジル全土で行われているトラック運転手によるストライキを受け、商品の供給が滞ったことによる影響から次回以降の結果は上昇圧力が高まることが予想される。

3.今週のチャート&ハイライト



伯中銀はレアル安を受けてドル売り介入を拡大

今週に入り、伯中銀はレアル安進行を受けて追加のドル売り入札を行った。現在行っている1日あたり7.5億ドルの入札に加え、5日に15億ドル(約11億ドルが落札)、7日に20億ドル、8日に30億ドルと合計で61億ドル相当のドル売り介入を実施。これを受けレアルは週末にかけて3.70台まで反発した。ゴールドファイン中銀総裁は介入の規模拡大を示しており、当局は来週末にかけて残り170億ドルのドル売り介入を実施すると見られている。現在行っているドル売りスワップ介入の足許の残高は約417億ドル。2015~2016年のレアル下落時には約1,100億ドルまで残高を拡大させたことから、当局は引き続き介入を継続する可能性が高い。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.65—3.75

来週のレアルは揉み合う展開を予想する。来週は12日-13日に米FOMC、14日にECB理事会と国外で重要イベントを控える中、週を通してリスクを取りづらい状況が続く。FOMCでは0.25%の利上げが実施される見込み。声明文でタカ派の内容が示された場合のドル高進行が懸念される一方、伯中銀はレアル相場の安定化のためにドル売り介入を拡大していく姿勢を示している。来週末にかけて残り170億ドルのドル売り介入を追加で行う見込みであり、これがレアルの下値を支えよう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	0.71%	0.70%	0.41%
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	0.29%	0.40%	0.22%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	2.74%	2.86%	2.76%
米	卸売在庫(前月比)	0.0%	--	0.0%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/11	FIPE CPI-週次	Jun/7	0.06%	0.01%
ブラジル	6/11	貿易収支(週次)	Jun/10	--	548.0
米	6/12	NFIB中小企業楽観指数	May	105.0	104.8
米	6/12	CPI(前年比)	May	2.7%	2.5%
ブラジル	6/13	小売売上高(前月比)	Apr	--	0.3%
ブラジル	6/13	小売売上高(前年比)	Apr	--	6.5%
米	6/13	PPI 最終需要(前月比)	May	0.3%	0.1%
米	6/13	FOMC政策金利(上限)	Jun/13	2.00%	1.75%
米	6/13	FOMC政策金利(下限)	Jun/13	1.75%	1.50%
ブラジル	6/14	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jun	--	1.1%
ブラジル	6/14	IBGEサービス部門売上高 前年比	Apr	--	-0.8%
米	6/14	小売売上高速報(前月比)	May	0.4%	0.3%
米	6/14	新規失業保険申請件数	Jun/9	222k	222k
米	6/14	失業保険継続受給者数	Jun/2	--	1741k
米	6/15	鉱工業生産(前月比)	May	0.3%	0.7%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。